

授業支援・連想モデル(小学校版)の利用目的と操作方法

<目的>

授業支援・連想モデルは、小学校理科の任意の単元において、直観的に思いつく学習目標や内容を自由に記述することにより、関連する内容が単語で表示されるシステムです。その関連する内容を参考にすることにより、その学習において必要とする内容や予め学習しておく内容、次に続く内容などを確認でき、授業設計に役立てることができます。

<操作方法>

- ①プルダウンにより、学年の単元を選択します。
- ②学習目標や内容を「記入」の枠に入力します。学習指導要領に書かれているようなきちっとしたものではなく、直観的な表現でかまいません。
- ③決定をクリックします。
- ④記入した内容の単語が「記入内容」に表示されます。また、関連する内容が「関連内容」に表示されます。「関連内容」を授業設計の参考にしてください。
- ⑤表示される単語が多すぎる場合「レンジ」をよりマイナスのほうに、逆に少ない場合はよりプラスのほうにリストボタンを選択して、もう一度「決定」をクリックしてください。何も表示されていない初期の状態のレンジは「0」です。
- ⑥「記入」枠の内容を書き直して、「決定」をクリックすることにより、何度でも実行することができます。

The screenshot displays the MAMM (小学校) interface. At the top, the title "授業支援・連想モデル MAMM (小学校)" is shown in green. Below the title, there are two dropdown menus for selecting a unit: "3年 単元" and "5年 流水の働き". To the right, a list of units is shown, with "5年 流水の働き" selected. Below the dropdowns, there is a text input field labeled "記入:学習の目標や内容" containing the text "川によって土が運ばれる". To the right of this field is a "レンジ" (Range) slider with radio buttons from +4 to -4, with 0 selected. Below the input field, there is a "決定" (Decision) button. Below the "決定" button, there are two columns: "記入内容" (Input Content) and "関連内容" (Related Content). The "記入内容" column shows "川土運ぶれる". The "関連内容" column shows a list of related terms: "する", "水", "いる", "流れる", "こと", "は", "たら", "ぎ", "ある", "地", "土", "流れ", "地面", "石", "なる", "搬", "運", "せ", "積", "堆", "侵", "食", "砂". To the right of the "関連内容" column, there is a "レンジ" slider with radio buttons from +4 to -4, with 0 selected. Below the "レンジ" slider, there is a "決定" button. The interface is annotated with numbered callouts: ① points to the unit selection dropdowns, ② points to the input field, ③ points to the "決定" button, ④ points to the "関連内容" column, and ⑤ points to the "レンジ" slider.